

■第2次周南市環境基本計画の進捗状況

第2次周南市環境基本計画では、目指す環境像の実現のため、各種の基本施策を掲げています。

基本施策に基づく各事業等の目標を数値化することにより、進捗状況の把握を容易にし、その結果を踏まえて計画等の更新を検討していきます。

【後期計画 令和2（2020）～令和6（2024）年度】

項目【単位】		H30 基準	R6 目標	R1 実績	進捗率※	詳細
第1節 新エネルギーの活用と低炭素社会の実現						
1	周南市の水素関連施設等の視察者数【人】	1,000	1,000 以上	937	0%	P.7
2	市の民生部門（家庭・業務）二酸化炭素排出量【千t-CO ₂ 】	(H27) 664	(R3) 597 以下	(H28) 654	15%	P.14
3	環境保全型農業の取組面積【アール】	4,499	6,500 以上	6,351	93%	P.26
第2節 循環型社会の形成						
4	市民一人1日当たりごみ排出量【g】	686	659 以下	681	19%	P.35
5	リサイクル率【%】	31.0	34.6 以上	30.9	0%	P.35
6	最終処分量（埋立量）【t】	3,052	2,807 以下	2,817	96%	P.35
7	市民一人当たりのごみ処理コスト【円】	11,700	11,500 以下	11,800	0%	P.35
8	環境館の利用者数【人】	3,253	5,000 以上	3,908	37%	P.38
第3節 生物多様性の保全						
9	特定外来生物の目撃情報件数【件】	24	0	66	0%	P.45
10	藻場・干潟保全活動団体数【団体】	2	3以上	2	0%	P.48
11	市民農園の利用率【%】	82.6	100	83.7	6%	P.49

※ 項目2は、3年遅れて環境省から公表される値を用いて算出する数値のため、3年遅れての実績評価となっています。

項目	H30 基準	R6 目標	R1 実績	進捗率※	詳細	
第4節 人づくり・地域づくりの推進						
12	しゅうなん出前トークの利用者数【人】	1,085	1,200 以上	2,031	達成	P.51
13	ごみのないきれいなまちづくり清掃活動参加者数【人】	49,541	55,000 以上	65,136	達成	P.63
第5節 大気・水環境などの保全						
14	光化学オキシダントの環境基準超過日数【日/年】	(H29) 82	(R5) 70 以下	(H30) 54	達成	P.66
15	水質の環境基準達成率	(H29)	(R5)	(H30)		P.67
	・海域 (COD) 【%】	66.7	100	66.7	0%	
	・河川 (BOD) 【%】	100	100	100	達成	
	・湖沼 (COD) 【%】	50.0	100	75.0	50%	
16	騒音の環境基準達成率					P.69
	・環境騒音 (一般地域) 【%】	83.3	100	83.3	0%	
	・自動車騒音 【%】	94.5	100	94.5	0%	
17	環境保全協定に基づく細目協定値の超過件数【件】	2	0	0	達成	P.71
アクションプラン						
18	「おもしろエコ川柳」応募者数【人】	374	400 以上	261	0%	P.24
19	野犬による被害件数【件】	66	0	47	29%	P.44
20	多面的機能支払認定農用地面積【ヘクタール】	813	813 以上	812	0%	P.46

※ 進捗率は基準年度から目標までの割合を示し、基本的に下記の計算式により算出しています。

$$\text{進捗率} = \frac{(\text{R1 実績} - \text{H30 基準})}{(\text{R6 目標} - \text{H30 基準})} \times 100$$

※ 項目 14 及び 15 は、12 月ごろに山口県から公表される値を用いて算出する数値のため、1 年遅れての実績評価となっています。

【前期計画の結果 平成27(2015)～令和元(2019)年度】

項目	H25 基準	R1 目標	R1 実績	目標 達成状況	詳細	
第1節 新エネルギーの活用と低炭素社会の実現						
1	燃料電池自動車、水素自動車の登録台数【台】	0	340以上	25	×	P.6
2	定置用燃料電池（エネファーム）の設置台数【台】	120	1,100以上	394	×	—
3	市の二酸化炭素排出量【千t-CO ₂ 】	(H23) 16,096	(H29) 15,290以下	(H28) 16,165	×	—
第2節 循環型社会の形成						
4	家庭系ごみの一人1日当たりのごみ排出量【g】	708.9	690.0以下	681	○	P.35
5	リサイクル率（焼却施設での発電利用を含む）【%】	29.9	34.5以上	30.9	×	P.35
6	最終処分量【t】	3,412	3,213以下	2,817	○	P.35
7	環境館利用者数【人】	3,381	4,000以上	3,908	×	P.38
8	クリーンリーダー設置率【%】	92.8	100	91.6	×	P.40
第3節 生物多様性の保全						
9	中山間地域等直接支払協定面積【ヘクタール】	463	475以上	461	×	—
10	多面的機能支払協定面積【ヘクタール】	516	580以上	812	○	P.46
11	ほ場整備済面積【ヘクタール】	804	817以上	818	○	—

※ 目標達成状況は、○が達成、×が未達成を示します。

※ 項目3は、3年遅れて環境省から公表される値を用いて算出する数値のため、3年遅れての実績評価となっています。

項目		H25 基準	R1 目標	R1 実績	目標 達成状況	詳細
第4節 人づくり・地域づくりの推進						
12	公園愛護会結成団体数【団体】	128	135 以上	145	○	P.61
13	ごみのないきれいなまちづくり清掃活動参加者数【人】	0	4,000 以上	402	×	P.63
14	犬の飼い方教室・講座の受講者数（累計）【人】	99	600 以上	224	×	—
15	環境清掃里親登録団体数【団体】	56	100 以上	55	×	P.60
第5節 大気・水環境などの保全						
16	大気環境基準達成率			(H30)		P.77
	・二酸化硫黄【%】	100	100	100	○	
	・二酸化窒素【%】	100	100	100	○	
	・一酸化炭素【%】	100	100	100	○	
17	水質環境基準達成率			(H30)		P.67
	・海域（COD）【%】	66.7	100	66.7	×	
	・河川（BOD）【%】	100.0	100	100	○	
	・湖沼（COD）【%】	75.0	100	75.0	×	
18	騒音環境基準達成率					P.69
	・環境騒音【%】	50.0	100	83.3	×	
	・自動車騒音【%】	91.0	100	94.5	×	
19	生活排水処理率【%】	89.7	93.8 以上	89.5	×	—

※ 目標達成状況は、○が達成、×が未達成を示します。

※ 項目 16 及び 17 は、12 月ごろに山口県から公表される値を用いて算出する数値のため、1 年遅れての実績評価となっています。

1-1.新エネルギーの利活用の推進

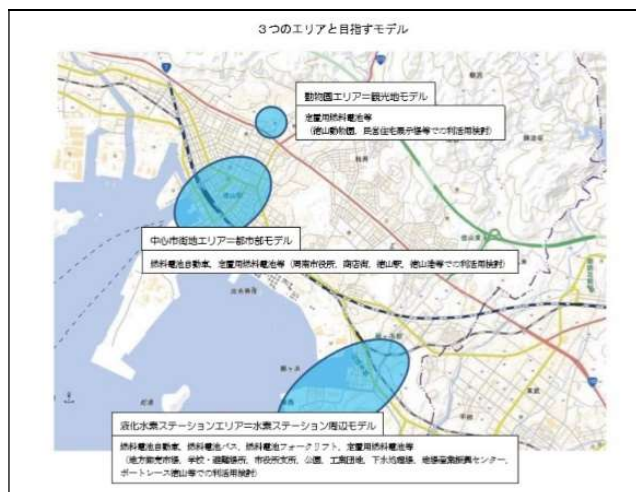
1-1-1 水素エネルギーの利活用の推進

【次世代自動車等の普及促進（商工振興課）】

平成 27（2015）年8月、中国・四国地方初となる水素ステーションである「イワタニ水素ステーション山口周南」が鼓海1丁目に開業し、水素の製造から輸送、貯蔵、供給、利用に至る各段階での低炭素化されたサプライチェーンの地域実証を環境省委託事業にて取り組んでいます。

その中で、平成 28（2016）年度からは、市で保有する燃料電池自動車（FCV）3 台のうち 1 台を市民向け無料カーシェアリング事業で使用し、令和元（2019）年度は、76 名（走行距離 12,346km）に体験していただきました。また、イベントで FCV により発電した電気を会場の機材に給電するデモンストラーションを行いました。

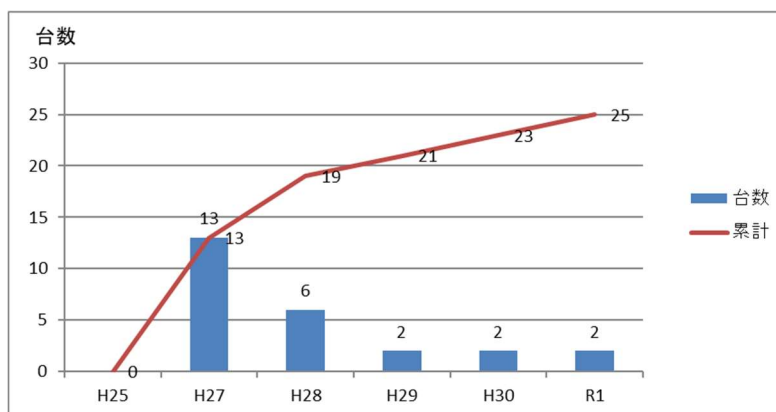
なお、令和元（2019）年度は、FCV の新規登録が 2 台あり、これまでの累計登録台数は 25 台となっています（図 1-1 参照）。



【周南市水素利活用計画】

★分析と課題 二酸化炭素などの大気汚染物質を発生させず、空気を汚すことなく自動車を走行させることが可能なFCVですが、車両価格（標準価格約 730～770 万円で、国の制度により約 200 万円補助あり：資源エネルギー庁）が他車と比較して高額であり、全国各地にあるガソリンスタ

図 1-1 燃料電池自動車・水素自動車の登録台数の推移



ンドと比べて水素ステーションは限定された整備にとどまっており、インフラが整備され普及が進むことで、手の届きやすい価格になることが望めます。また燃料となる水素は、ボイラー等の燃料として既に用いられてきた副生水素の用途を変えた利活用であるため、代替燃料の利用に伴い二酸化炭素が追加的に発生していることも課題です。

★方向性・目標 水素と酸素の化学反応で発電して走る燃料電池自動車（FCV）や燃料電池フォークリフト（FCFL）等の普及促進を図ります。

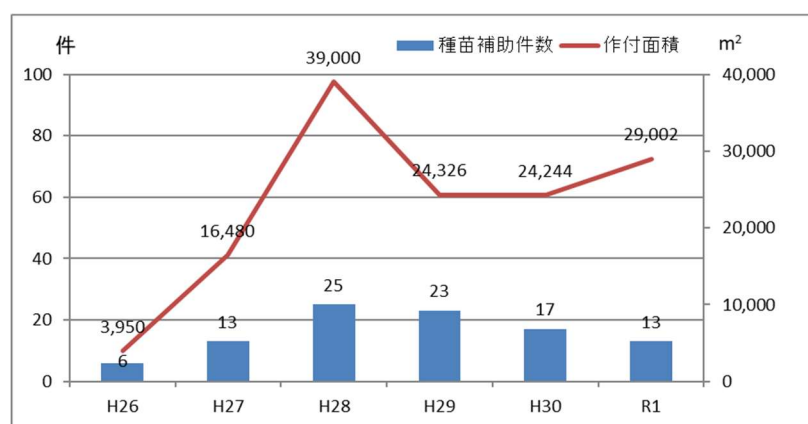
表 1-9 認定・支援の状況（詳細は市農林課 HP 参照）

認定・支援	R1	累計
地産地消推進店の認定	5 店舗	84 店舗
しゅうなんブランド認定	8 品	115 品
6次産業化への支援	1 件	7 件

○栽培施設等の整備【農林課】

特定農産物の産地化を進め、農業経営の収益向上及び経営の安定化を図るため、市内の直売所に出荷することを条件に、特定品種の種苗補助を一定の要件のもと行っています。令和元(2019)年度の種苗補助件数、作付け面積は、それぞれ 13 件 29,002 m²でした（図 1-12 参照）。

図 1-12 特定品種の種苗補助件数及び作付面積の推移

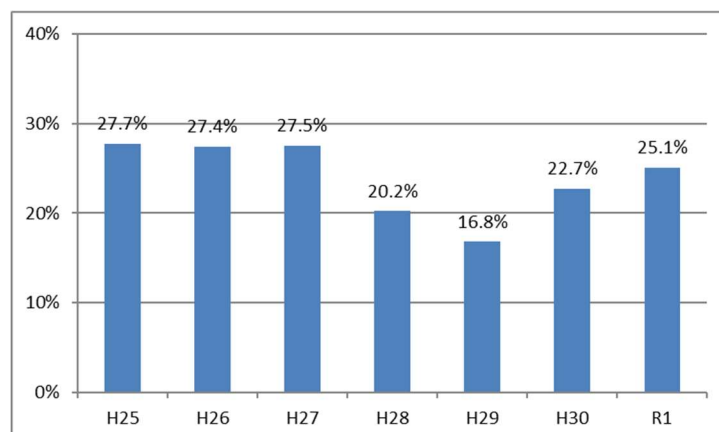


○学校給食における地場産物の使用促進【学校給食課】

学校給食における食材において、米及び牛乳は、県内産を 100%使用しています。パンについても、平成 24 (2012) 年 12 月から県内産小麦と米粉を 100%使用しています。

また、毎月「地場産給食の日」を設け、県内産食材の使用促進に努めて、特に青果食材は、使用頻度の高い 11 品目を選び、重量ベースで 30%の使用を目標にしています。天災や天候などの影響を受け、目標値を下回り令和元(2019)年度は、25.1%の使用率でした（図 1-13 参照）。

図 1-13 青果食材 11 品目の県内産食材使用率（重量ベース）



※11 品目：人参、たまねぎ、ばれいしょ、さつまいも、なす、キャベツ、ねぎ、大根、白菜、ほうれん草、みかん

表 2-8 情報発信の状況

発信媒体	H27	H28	H29	H30	R1
ごみアプリ ダウンロード総数	12,520	15,474	19,121	23,664	29,523
ケーブルテレビ 市政だより	みんなでつくる 循環型社会のま ち・周南 H27.5月放送	分ければ資源 みんなでごみの リサイクル H28.7月放送	分ければ資源 みんなでごみの リサイクル H29.7月放送	正しい分別でご みの減量・再資 源への第一歩 H30.7月放送	あなたの番で す！家庭ででき るごみ減量 R1.8月放送

2-3-3 環境教育の充実

【しゅうなん出前トーク（リサイクル推進課）】

市政に対する理解を深めていただくため、市職員が直接、市民の皆さんへ、市の施策や事業を分かりやすく説明するとともに、意見交換を行う「しゅうなん出前トーク」を実施しています。令和元（2019）年度は「ごみの分け方・出し方」というテーマで22件693人の参加がありました（表2-9参照）。

★分析と課題 ごみ減量や分別の方法、ごみ・環境に関する問題などについて、市民に直接説明する機会を設け、市民と意見交換を行いながらごみや環境に対する意識啓発を図り、正しいごみ分別の方法について、継続的に啓発を行う必要があります。

★方向性・目標 ~~市職員が直接、市民の所にお伺いし、市の施策や事業を説明する~~「しゅうなん出前トーク」を実施し、ごみの減量や分別方法などのテーマについて、市民と意見交換を行いながら意識啓発を図ります。

表 2-9 しゅうなん出前トーク開催の状況

項目	H27	H28	H29	H30	R1
開催件数	19	16	10	8	22
参加人数	516	461	320	231	693

2-3-4 地域から発信する啓発

【クリーンリーダーの設置（リサイクル推進課）】

地域でのごみ問題に対してリーダーとして活動し、市とともに循環型社会づくりに取り組んでもらう「クリーンリーダー」の配置・育成を進めていきます。令和元（2019）年度時点の設置率は、91.6%です（表2-10参照）。

★分析と課題 地域におけるごみ問題や環境活動については、それぞれの地域の状況に応じた解決を図り、そして積極的に活動していくことが望まれます。そのため、各地域で活動の中心となり、地域の内側から啓発を進めるリーダー的存在の配置、育成、支援が必要です。

★方向性・目標 ~~地域のごみ問題に対してのリーダー役として活動し、市とともに循環型社会づくりに取り組んでもらう~~「クリーンリーダー」の設置・育成を進めます。

表 2-10 クリーンリーダー設置の状況

項目	H27	H28	H29	H30	R1
設置自治会数	902	924	929	921	889
設置率	94.4%	94.5%	93.9%	95.2%	91.6%
研修会開催数	8	8	8	8	8

環境教育・環境学習だけでなく、地域でも子どもが活躍できています。

★**方向性・目標** ~~環境保全に対する正しい理解を深め、主体的に行動できる児童・生徒を育成する学校を山口県が認証する~~「やまぐちエコリーダーズスクール」への登録を推奨します。

【樹木観察会（公園花とみどり課）】

西緑地の樹木見本林や万葉の森を活用し、多くの市民が自然とふれあい、環境について学習することを目的に、樹木観察会を開催しました。5月に開催し、32人の参加がありました。

★**分析と課題** 公園愛護会に関わる方の参加により、各公園に樹木名板の取付・補修等、愛護会活動にも役立つため、今後も年1回の開催及び他講座での開催を予定しています。



【樹木観察会の様子】

★**方向性・目標** ~~西緑地の樹木見本林や万葉の森の樹木群を活用し、自然とふれあい環境について学ぶ~~「樹木観察会」を開催します。

【ツルの里案内人（生涯学習課）】

特定非営利活動法人ナベツル環境保護協会は、ツルの里案内人（ボランティアガイド）を設け、ツルの見学者に対し、野鶴監視所敷地内でツルの生態解説などを行っています。令和元（2019）年度は12月から3月の土・日・祝日を中心に行われました。

★**分析と課題** 特定非営利活動法人のボランティアガイドについて、自主的な取組による今後の継続を期待します。市では広くツル保護活動を知っていただけるよう、出前トークや県内外の学校、団体等の研修受け入れなど別の形での普及啓発を行っています。

★**方向性・目標** 地域住民を中心としたツル保護に対する普及啓発などの活動を支援します。

【エコツーリズム（観光交流課）】

地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を伝えるエコツーリズムは（一財）周南観光コンベンション協会や大田原自然の家により、令和元（2019）年度は市内で56回実施されました。（一財）周南観光コンベンション協会による、自然散策等のウォーキングツアーが定期的で開催され、毎回多くの参加があります。

★**分析と課題** 自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を伝えるエコツーリズムを今後も継続的に実施していきます。

★**方向性・目標** 地域資源や観光資源を活用し、自然環境や歴史文化を巡りながら地域固有の魅力を伝える体験型ツアーとして、ボランティアガイドの会などが実施する自然散策などの定期的なウォーキングツアーを支援します。

【徳山動物園インタープリテーションプログラム「T-ZIP」の開発（動物園）】

動物園で環境学習を進める効果的な方法として、動物についての解説に環境学習の視点をうまく取り入れた体験的な学習プログラム「T-ZIP」の令和2（2020）年度からの実施を目指して準備を進めています。T-ZIPは、動物園職員とボランティアが協力して行っていくプログラムであり、令和元（2019）年度は、プログラムのブラッシュアップと試行的な実施及び第2期のボランティアの募集を行いました。現在20名程度のインタープリターボランティアが登録しています。

★分析と課題 全国的にも前例がない取組であり、プログラム作りにはかなりの時間が必要で、また、プログラムを職員とともに支えてくださるボランティアの確保も重要です。令和2（2020）年からT-ZIPを来園者に対して本格的に実施していきます。

★方向性・目標 動物園で環境学習を進める効果的な方法として、動物についての解説に環境学習の視点を取り入れた体験的な学習プログラム「T-ZIP」を開発し、動物園職員とボランティアが協力して実施していきます。



【インタープリター研修】

【大田原自然の家（生涯学習課）】

大田原自然の家は、青少年が自然に親しみながら、集団宿泊活動等を通じて、情操や社会性を豊かにし、青少年の健全育成を図る社会教育施設です。素朴な田舎体験や自然とのふれあいを求める方には最適です。

子どもから家族、一般、指導者を対象に様々な事業を実施し、令和元（2019）年度は191団体、延べ8,045人の利用がありました（図4-1参照）。

★分析と課題 利用者の安心・安全への配慮から、近年、悪天候が予想される際は主催事業や一般利用を中止することとしており、年間延べ利用者数は減少傾向にあります。

施設の老朽化が進み、また建物が土砂災害特別警戒区域に立地していることから、事業は継続するものの、他所へ移転することを決定し、移転先については検討中です。

新たな施設の準備が整うまでの間は、特に利用者の安心・安全を第一にした施設運営を行うこととしています。

★方向性・目標 豊かな自然に囲まれて様々な自然体験ができる大田原自然の家では、集団宿泊活動などを通じて、素朴な田舎体験や自然とのふれあいを楽しむ催しを実施します。

《第4節 人づくり・地域づくりの推進》

開催時期	名称（内容説明）	参加人数	関係課
8月1日	親と子の水辺の教室	32	熊毛総合支所市民福祉課 熊毛環境衛生推進協議会
8月4日	第15回周南市エコフェスタ（牛乳パックでびっくり箱作製、南天の木・フウセンカズラの種で「難を転じて苦が去る」縁起物作製、廃材・古着でウォールポケット作製、新聞紙・段ボール箱でエコバッグ・フォトフレーム作製、リサイクル工作のおもちゃで遊ぶコーナー、空き缶プレスカー見学・パッカー車試乗体験、リユース品抽選会）	296	リサイクル推進課
10月5日	ツルのねぐら整備ボランティア（ナベツルのねぐらと餌場の整備）	200	生涯学習課
10月13日	周南みなとまつり（燃料電池自動車及び外部給電デモ展示）	5,000	商工振興課
10月13日	永源山公園ゆめ風車まつり	6,500	公園花とみどり課
10月5日	京都大学フィールド科学教育研究センター・周南市連携講座（第19回）（実演体験「檜皮ぶき屋根」、西緑地の見学）	27	公園花とみどり課
10月26日	やまぐち産業維新展（燃料電池自動車及び外部給電デモ展示）	10,100	商工振興課
10月26日	まちと森と水の交流会	約350	農林課
10月27日	周南こどもゆめまつり	10,000	熊毛総合支所 地域政策課
10月30日	永源山公園「ゆめ風車」チューリップ満開作戦（チューリップの球根を植えてもらうイベント）	177	公園花とみどり課
11月3日	長野山と漢陽寺の紅葉散策	20	観光交流課
11月3日、4日	周南ふるさとふれあい物産展（燃料電池自動車及び外部給電デモ展示）	60,000	商工振興課
11月9日、10日	ルーラル315・376 フェスタ（沿線の朝市や催し物を結ぶ地域イベントで市内の会場で農山村漁村の女性たちが中心となって朝市やイベント、体験コーナーを開催）	1,480	農林課
11月16日	徳山商工文化祭（燃料電池自動車及び外部給電デモ展示）	1,642	商工振興課
11月17日	周南市・市民総合防災訓練2019（燃料電池自動車及び外部給電デモ展示）	500	商工振興課
11月24日	くまげ鶴の里ウォーク大会	803	熊毛総合支所 地域政策課
12月8日	周南ゆめ物語（燃料電池自動車展示）	5,300	商工振興課
令和2年 2月16日	第16回周南市エコフェスタ（新聞紙でエコバッグ・ごみ箱・防災グッズ・空き缶リメイクの作製、発電体験・ストライクゾーン遊び・竹とんぼ作り・クラフトパッカー車作りのスタンプラリー、パッカー車・空き缶プレスカー展示、ごみ処理施設見学、再生自転車の展示販売、環境問題パネル展示、リユース品抽選会）	380	リサイクル推進課

《第4節 人づくり・地域づくりの推進》

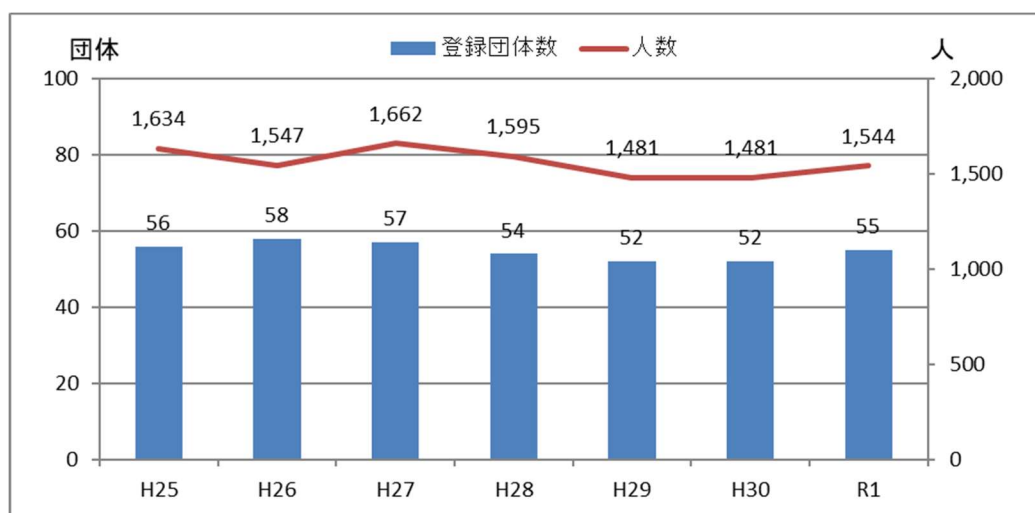
市民の皆さんと市が一体となった環境美化活動を強力に推進し、ボランティア団体・グループの活性化を目的としています。

市は年4回以上の清掃をされる団体・グループに対し、ごみ袋の支給、清掃美化活動中のケガなどに適用される保険（見舞金）の手続き、ボランティア団体及びグループ名を記した表示板の設置等を担当しています（図4-6参照）。

★分析と課題 里親団体と人数が減少傾向にあります。

★方向性・目標 ~~道路や公園を「子ども」に見立て、地域の皆さんが親代わりとなり、地域の公共施設のお世話をさせていただく~~ボランティア団体やグループの活性化を図ります。

図4-6 環境清掃里親制度の登録数等の推移



【公園愛護会（公園花とみどり課）】

公園が市民の憩いの場、楽しい遊び場となるよう清掃や児童の見守りを行う団体を支援する制度であり、令和元(2019)年度の結成団体数は145団体です(図4-7参照)。

公園愛護会が結成されていない公園もあります。

★分析と課題 公園愛護会設立などの相談に力を入れ、公園を管理していただける公園愛護会がさらに増加することが必要です。

★方向性・目標 ~~公園が市民の憩いの場や楽しい遊び場となるように、清掃活動や子供たちの見守り活動を行う団体を支援する制度で、~~設立に向けての相談などに応じます。

図4-7 公園愛護会結成団体数の推移

